

インフラツーリズムにおける  
観光資源とその特性に関する研究  
～特に工事現場ツーリズムに着目して～

首都大学東京大学院都市環境科学研究科  
清水 哲夫

## インフラツーリズム



近年土木の現場を体感する観光ツアーが人気を博しており、ニューツーリズムのひとつとして注目を集めている。

**世界に誇るべき土木技術や優れた性能を有する土木構造物など、特徴あるインフラ施設を観光資源として活用するもの。**

(国交省中国地整)

日本経済新聞 2014年10月6日 朝刊



国交省では、2016年にインフラツーリズムの最新情報を集約したポータルサイトを開設し、インフラツーリズムを推進している。

国交省(2016)

## 現状

現状で実施されるインフラツアーは、  
社会資本の整備に携わる事業者によって企画されるものがほとんど。



土木構造物の社会資本としての役割をPRするための**広報活動の一環**  
として観光という手段で取り組んでいるという側面が強い。



夏休み!親子で学べる“道づくり”  
(JTB・土木学会/2013年実施)



開通直前 圏央道見学ウォーキング  
(JTB・土木学会/2013年実施)

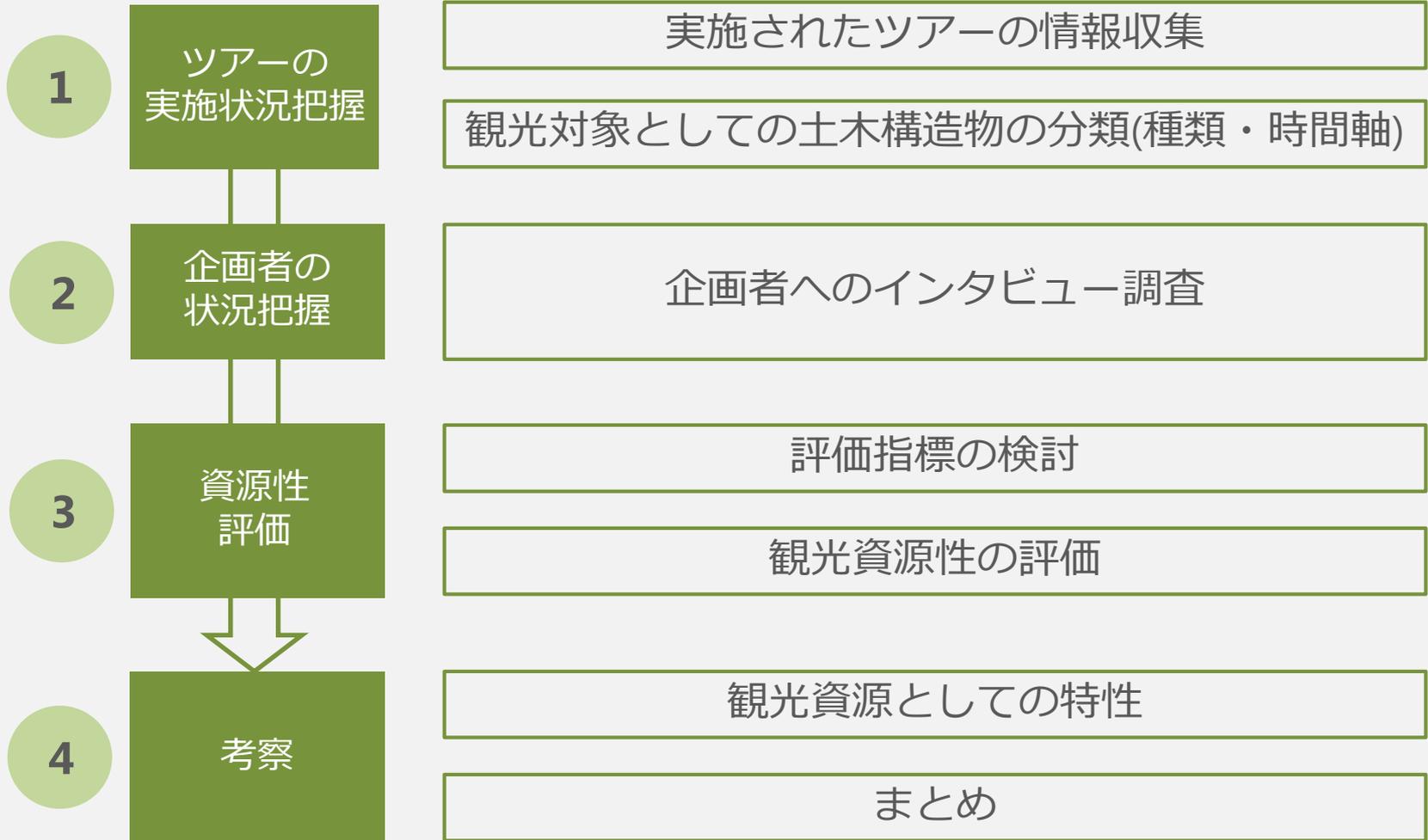
# 目的

- 
- 土木構造物やそこでの体験に対し、**観光資源としての特性を議論した例は無い。**
  - インフラツーリズムが観光客の需要よりも、事業への理解という事業者側の目的が先行しすぎるものであるなら、産業としての観光につながるかという点で疑問がある。
  - 土木構造物やそこでの体験が観光資源として、**どのように評価され活用しうるのか**を議論する必要がある

## 研究目的

- 土木構造物の観光資源としての利用の状況を把握する
- 評価の視点を整理し土木構造物の持つ  
**観光資源性を明らかにする**

# 研究の流れ



## 公募のツアーや現場見学会

(住民説明会など対象者を狭く限定したものは除く)

⇒わざわざ見に行く、そのための移動が生じるもの。

- 政府がインフラツーリズムに取り組み始めた  
2013年以降実施されたインフラツアーや現場見学会
- 国交省各地方整備局のホームページや、  
土木学会のホームページなどで示される情報をもとに整理した。

事業者	概要	実施回数(回)			
		2013年	2014年	2015年	合計
土木学会	有料工事現場見学ツアー	2	3	1	6
NEXCO中日本	有料バスツアー	6	9	3	18
首都高速道路	首都高講座(無料)	5	5	5	15
土木学会関西	現場見学会	3	3	3	9



© Japan Society of Civil Engineers

# 1 インフラの種類と時間軸の考え方

## インフラの種類

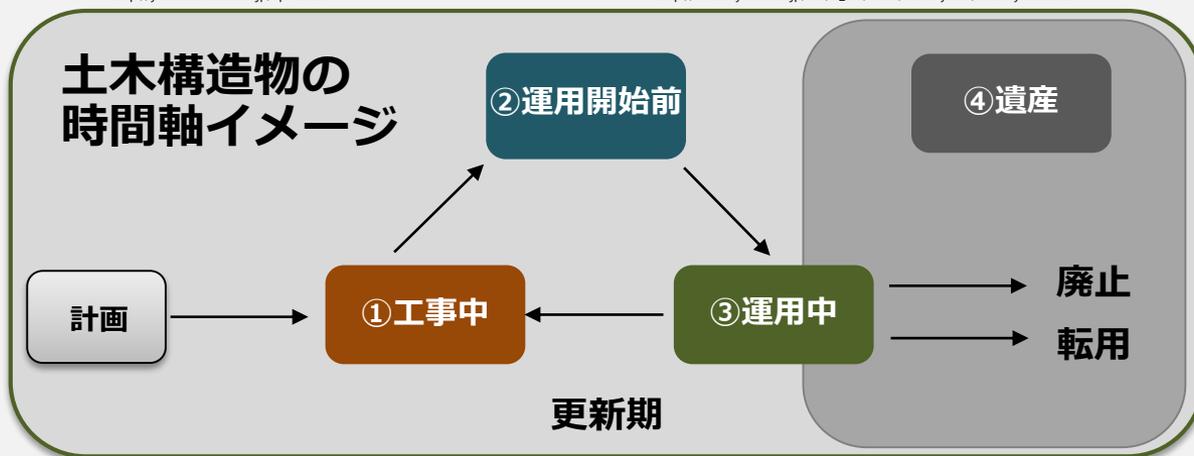
種類	
水	河川
	上下水道
	海岸・海洋
	砂防
	ダム
	水門
交通	道路
	鉄道
	航空
	港湾
	橋梁
	トンネル



<http://yukarin.sakura.ne.jp/?p=13165>



[http://s-ok.my.coocan.jp/tan/b\\_tan/tukui/08siroyama/08siroyama.htm](http://s-ok.my.coocan.jp/tan/b_tan/tukui/08siroyama/08siroyama.htm)



©Radiate.jp



(C) 2007-2012 TABBIT TOURS CO



<http://seesaawiki.jp/w/manetora100/>

土木学会(2007)を一部抜粋して作成

## 遺産

小倉橋



黒部ダム



© 2016 Toyama Prefectural Tourism Association.

小刀根トンネル



© Tsuruga Film Commission.



歴史的な価値が認められた土木構造物は、  
観光資源としての活用事例も多く、土木遺産としての認定も含め、  
**観光資源としての一定の評価が得られている**と考えられる。

工事中や運用開始前の資源は観光資源として新たな項目であるといえる。  
また、運用中のものでも注目されている資源がある。  
そこで、主に**工事中**、**運用開始前**、**運用中**の3つのフェーズにある施設を  
調査・分析の対象とした。

	ツアーの内容	時間軸の特徴	事例
 <p><b>工事中</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>-工事現場見学</li> <li>-土木体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>-限定的</li> <li>-<b>同じ景色が無い</b></li> </ul>	東京外環道千葉区間(JTB) 圏央道-相模原IC付近- (NEXCO中)
 <p><b>運用開始前</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>-ウォーキング</li> <li>-開通セレモニー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>-竣工から開通までの</li> <li><b>極めて短い期間</b></li> </ul>	東京港トンネル(JTB) さがみ縦貫道(NEXCO中)
 <p><b>運用中</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>-管理体制の見学</li> <li>-普段は入れない場所</li> <li>-ダム放水</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>-期間が長い</li> <li>-季節的な要素もある</li> </ul>	宮ヶ瀬ダム(NEXCO中) レインボブリッジ(首都高)

企画者が考える土木構造物の持つ魅力や可能性、インフラツーリズムへの期待について明らかにすること。

- ・ 開催回数や企画内容から特に力を入れて取り組んでいる**5団体**

【インタビュー調査】

**土木学会・JTB・土木学会関西支部・NEXCO中日本**

【web情報やガイド内容から判断】

**首都高速道路株式会社**

**インタビュー項目**

- |              |                        |
|--------------|------------------------|
| (1)企画内容と実施状況 | (4)インフラツーリズムの魅力        |
| (2)実施の経緯     | (5)インフラツアーを行う際に意識している点 |
| (3)実施の体制     | (6)ツアーの企画・実施に関する課題     |

	経緯	主な企画
土木学会	土木に対する <b>理解の不足</b> アクションプランを策定 無料を有料化できるか議論	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休み！親子で学べる道づくり(2013)</li> <li>～圏央道(さがみ縦貫道)～開通当日ウォーキングと開通セレモニー見学(2014)</li> </ul>
JTB		
NEXCO中 (現在は実施していない)	新規事業として旅行業 NEXCOらしさを出すことのできる <b>資源は高速道路</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高速道路探検隊(2013)</li> <li>ダムトンネルミニコンサートと大鹿村散策ツアー(2013)</li> </ul>
土木関西	土木に対する理解の欠如 2014からは有料ツアー	<ul style="list-style-type: none"> <li>橋とトンネルの土木工事現場見学会(2014)</li> <li>工事中のトンネルを探検してみよう！(2014)</li> </ul>
首都高	会社の取り組みを勉強・体験 <b>土木に親しみを持ってもらおう</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今しか見られない品川線の建設現場を歩こう！(2014)</li> </ul>

	注目点	意識点	課題
土木学会	メンテナンスの現場も	易しい説明かつ <b>エンタメ性</b> 土木計画から知ってもらう	<b>関係組織との連携</b> テーマで切り取った ツアーの実施
JTB	<b>素人感覚で分かるもの</b>	付加価値をつけ 観光ツアーとしての充実	
NEXCO中 (現在は実施していない)	<b>希少性</b> や <b>非日常性</b> 誰かに自慢できるもの 現場の生の声	周辺環境と組み合わせた <b>ストーリー立てたツアー</b>	ツアーの <b>採算性</b> →収益もツアー実施の目的 →ツアーの量産ができない 価格設定難しい
土木関西	<b>迫力を体感</b> してもらう	<b>専門的になりすぎない</b> 分かりやすい解説や実験	関係組織との連携 ノウハウが生かせていない
首都高			内容のむずかしさ

## まとめ

### 魅力

- 土木現場を見学する「今しか体験できない」 **希少性**
- 土木構造物の裏側といった普段はできない体験をするという **非日常性**

### ツアーでの工夫

- **分かりやすい解説**を心がけ誰にでも理解できるようにすること
- おもしろいエンターテイメント性のある解説
- **ストーリー性**を意識したツアーを造成（土木学会・NEXCO中日本）

### 課題

- インフラツアーは量産できるものではなく収益事業としては成り立ちにくい
- 現場との連携体制を構築することが難しくツアーの実施に手間がかかる

## 既存の評価指標(日本交通公社)

### 「全国観光資源台帳(2014)」の評価指標は8項目

#### 評価対象

観光対象となってから20～30年程度経過したもの

知識や解説から認識できる「**知性的側面**」  
直感的に認識できる「**感性的側面**」が意識された

#### 評価手法

自然資源10種、人文資源14種の計24種(451件)の  
資源を有識者7人が議論し評価した。

評価指標	具体的な基準
美しさ	視覚的な美しさを持つ資源
大きさ	視覚的な大きさ,雄大さ,迫力を持つ資源
古さ	形成された年代が古い資源 地域の歴史、伝統にとっての重要性
珍しさ	希少性を持つ資源 解説もしくは視覚的に理解できるもの
静けさ	神秘性や荘厳さを持つ資源 賑わいや猥雑さが評価を高める場合も
日本らしさ	自然や歴史,文化が継承されてきた資源
地方らしさ	地方独自の自然や歴史,文化,風土
住民との 繋がりの深さ	地域住民のアイデンティティの一部 となっているもの

中野ら(2014)を一部抜粋して作成

## 観光資源性の指標の検討

日本交通公社の指標を基本としながら、土木構造物ならではの特性として、**技術力**や**ダイナミックさ**、**体験**等を加えることを検討した。

### 分類指標

3個の大項目と8個の小項目を設定

### 小項目

状態に応じて視点を細かく設定

### オプション

ツアー内のイベントや体験を振り分け



## 審美性（⇒美しさ・大きさ・静けさ）

美しさや大きさ、静けさといったような感覚的に理解する特性

美しさ⇒資源単体と周辺環境との調和

大きさ⇒静的な大きさと動的な大きさ(ダイナミックさ)

## 希少性（⇒技術力・タイミング・体験）

珍しい技術や今しか見れない(タイミング)など、限定的な特性

技術力⇒工法・機能・オペレーション

体験⇒施設本来の機能と見立ての機能

## 独自性（⇒歴史性・ストーリー性）

特有の文化的・地理的背景や伝統を継承している特性

歴史性⇒資源そのものの古さや歴史的価値

設定した指標			説明	既存の指標
審美性	美しさ	対象自体 周辺環境	施設単体の美しさ 周辺環境との調和としての美しさ	美しさ
	大きさ	静的 動的	施設そのものの持つ物理的な大きさ ダイナミックで迫力のある様子	大きさ
	静けさ		資源の存在を強調するような雰囲気 音が乱れ飛ぶようなもの	静けさ
希少性	技術力	機能	特筆すべき機能を持つもの	珍しさ
		工法	珍しい技術を用いた工法	
	オペレーション	安全設備等管理の現場の技術力		
	タイミング		期間が限定された希少な体験	
	体験	本来の機能	施設本来の機能を体験すること	
		見立ての機能	本来の機能ではないが希少な体験	
独自性	歴史性		歴史的な価値が認められた資源	古さ
	ストーリー性		意外な建設背景を持つもの 身近なものとのつながりを持つ資源	日本らしさ 地域らしさ 住民との繋がり深さ

企画側の調査を行ったツアーから2013年以降に実施されたものを扱う

### 対象としたツアー：19

企画者	ツアー数
JTB/土木学会	5
NEXCO中日本	4
土木学会関西支部	5
首都高速道路	5

### 資源の数：34

時間軸	資源数	資源の種類	資源数
工事中	18	道路	9
		トンネル	10
運用開始前	4	橋梁	4
		鉄道	3
運用中	10	ダム	6
		関連施設	2
遺産	2		

## 評価方法

- ① ツアー募集や企画の文言で企画側が魅力として提示した事項
- ② 土木構造物やツアーの特徴
- ③ 実施時期による特性

以上の中から設定した評価指標に当てはまる事象を抽出し資源性として評価

### ✓ 企画者側が魅力としているポイント(○)

キーワード例:

**開通前の今だけ**

⇒タイミング・

**日本屈指の長さ**

⇒静的な大きさ

### ✓ ツアーの設定時期や対象の環境から想定される資源性(●)

判断基準例:

工事中の現場⇒タイミング・動的な大きさ・静けさ

高速道路のウォーキングツアー⇒静的な大きさ・静けさ

JTB・土木学会			夏休み！親子で学べる道づくり JTB・土木学会 東京外郭環状道路千葉 県区間	東京港トンネルウォー キングツアー JTB・土木学会 国道357号東京港トン ネル	東京港トンネルウォー キング ツアー JTB・土木学会 国道357号東京港トン ネル	新東名・さがみ縦貫道 JCT工事と日向薬師平成大修理現場潜入ツアー JTB・土木学会 新東名 伊勢原JCT			さがみ縦貫道 海老名南JCT	さがみ縦貫道 海老名JCT	～圏央道(さがみ縦貫道)～ 開通当日ウォーキングと開通セレモニー見学 JTB・土木学会 さがみ縦貫道		新東名橋梁工事 (相模川)
時間軸			1-1	2	2	1-1	1-1	2	2	2	2	1-1	1-1
対象			道路	トンネル	トンネル	道路	道路	道路	道路	道路	道路	橋	
審美性	美しさ	対象自体 周辺環境		○		○						●	
	大きさ	静的 動的		●		●		●		●		●	●
	静けさ		●	●	●	●		●		●		●	
希少性	技術力	機能 工法											
		オペレーション		○ (避難経路)	○ (避難経路)								
	タイミング		○ (普段は見れない)	○ (開通前の今)	○ (開通前の今)	○	○	○	○	○	○	●	
	体験	本来の機能	○ (高所作業車)										
見立ての機能			○ (歩く・コンサート)	○ (歩く・コンサート)				○ (ウォーキング)	○ (ウォーキング)				
真正性	歴史性(古さ)												
	ストーリー性			○ (東大教授)	○ (東大教授)								
オプションの有無			土木体験等 別の観光(食事等も)	○ ○	○			○(地元の豆腐料理)				○ ○	
NEXCO中日本			高速道路探検隊 NEXCO中日本 一宮道路管制センター	飛驒トンネル	圏央道見学ウォーキング NEXCO中日本・土木学会 圏央道(相模原IC付近)	宮ヶ瀬ダム	小倉橋	ダムトンネルミニコンサートと 大鹿村散策ツアー NEXCO中日本 小渋ダム (土砂バイパストンネル)	南アルプス・奥大井ダム探検&古の鉄道跡・廃線ミニウォーキング NEXCO中日本	長島ダム	井川ダム	井川線廃線	
時間軸			3	3	1-1	3	4-1	1-1	3	3	3	4-3	
対象			関連施設	トンネル	道路	ダム	橋	ダム	ダム	ダム	ダム	鉄道	
審美性	美しさ	対象自体 周辺環境			●	●	○		●	●	●	●	
	大きさ	静的 動的		○	●	○		○ (高さ105m)	●	●	●	●	
	静けさ			●	●			●	●	●	●		
希少性	技術力	機能 工法	○	○			○		○		○		
		オペレーション	○	○							○		
	タイミング	●	○	○		○		○	○	○			
	体験	本来の機能				○ (放流)							
見立ての機能				○ (ウォーキング)				○ (ウォーク・コンサート)				○	
真正性	歴史性(古さ)												
	ストーリー性		○				○	○	○	○	○	○	
オプションの有無			土木体験等 別の観光(食事等も)	○ ○ (白川郷)			○	○ (ランチ)				○	

凡例：○企画側・●想定される資源性

土木学会関西支部			橋とトンネルの土木工事現場見学会 土木学会関西支部 箕面トンネル東 工事現場		ダムとトンネルの土木工事現場見学会in福井 土木学会関西支部		ダムと道路を探検しよう！ 土木学会関西支部		鉄道高架工事を見に行こう！ 土木学会関西支部 阪急淡路駅付近鉄道高架 化工事現場		工事中のトンネルを探検し てみよう！ 土木学会関西支部 阪神高速大和川線シー ルドトンネル	
時間軸			1-1	1-1	1-1	1-1	3	1-1	1-1	1-1	1-1	
対象			トンネル	橋	ダム	トンネル	ダム	トンネル	鉄道	トンネル		
審美性	美しさ	対象自体	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
		周辺環境	(大阪平野を一望)	(絶景の紅葉)	(絶景の紅葉)							
	大きさ	静的	●	○		●		○		○		○
		動的	●	●	○	○		(雄大なダム)				
静けさ		●	●	●	●			●	●	●	●	
希少性	技術力	機能	○		○		○					
		工法	(環境に配慮)		○	○						○
		オペレーション										○
	タイミング		○	○	○	○			●	○	○	
体験	本来の機能									○	○	
	見立ての機能								(直上施工機に乗車)		○	
真正性	歴史性(古さ)											
	ストーリー性	○	○	○			○			○		
オプションの有無	土木体験等					○		○		○		○
	別の観光					○						○

首都高速道路			今しか見られない品川線の建設現場を歩こう！		「首都高」がつかなく「陸」		生麦JCTの高架橋に昇って 横浜環状北線を学ぼう		地中で分合流、高度な技術が ぎゅっと詰まった大橋連結路		関係者以外立入禁止区域、レインボーブリッジと 東京港トンネルに入ってみよう		
時間軸			1-1	1-1	3	1-1	1-1	1-1	1-1	3	3	3	3
対象			トンネル	道路	鉄道	道路	道路	トンネル	トンネル	関連施設	トンネル	橋	
審美性	美しさ	対象自体											●
		周辺環境											○
	大きさ	静的	●	●	○	○	○	○	○	○			●
		動的		●	○	●	●	●	●	●			
静けさ		●	●	●	●	●	●	●	●				
希少性	技術力	機能	○				○	○	○	○	○		
		工法	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
		オペレーション	○		○			○	○	○	○	○	○
	タイミング		(今しか味わえない)	○		●		○	○	○	○	○	
体験	本来の機能							○	○			○	
	見立ての機能	○	○					○	○			○	
真正性	歴史性(古さ)			○				○	○			○	
	ストーリー性	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
オプションの有無	土木体験等												
	別の観光					○							

(ランチ)

審美性					希少性						独自性	
美しさ		大きさ		静けさ	技術力			タイミ ング	体験		歴史性	ストーリー性
対象自体	周辺環境	静的	動的		機能	工法	オペレー ション		本来の機能	見立ての機能		
<b>1</b>	<b>8</b>	<b>23</b>	<b>15</b>	<b>24</b>	<b>8</b>	<b>13</b>	<b>11</b>	<b>30</b>	<b>3</b>	<b>13</b>	<b>4</b>	<b>21</b>

審美性					希少性						独自性	
美しさ		大きさ		静けさ	技術力			タイミ ング	体験		歴史性	ストーリー性
対象自体	周辺環境	静的	動的		機能	工法	オペレー ション		本来の機能	見立ての機能		
<b>1</b>	<b>8</b>	<b>23</b>	<b>15</b>	<b>24</b>	<b>8</b>	<b>13</b>	<b>11</b>	<b>30</b>	<b>3</b>	<b>13</b>	<b>4</b>	<b>21</b>

### ① インフラツアーにおける希少性

- 「**タイミング**」 **30/34**資源  
⇒ 工事中や運用開始前の道路、トンネルを対象としたツアーで提示される
- そこでしか経験できないことを組み入れ「希少性」を高めている事例も

**限定的に提供される機会が  
ツーリズムとして展開する要素として意識されている**

### ②施設ごとにみる資源性の特徴

- 多くの資源に共通し評価される特性は、「大きさ(静的)」(**23/34資源**)、「大きさ(動的)」(**15/34資源**)といった**見た目で伝わりやすいもの**が注目
- トンネルの「静けさ」を利用しイベント(体験(見立ての機能))を実施する事例
- 道路：「**体験(見立ての機能)**」の「希少性」と「静けさ」が利用されていた  
⇒「静けさ」は実際の企画側の視点として言及がなかった

**誰もが感覚的に驚きや興奮を  
味わえるものが利用されている**

## ③観光資源としての多義性

例：東京港トンネル

	首都高	土木学会・JTB
美しさ(対象自体)		
美しさ(周辺環境)		
大きさ(動的)		○
大きさ(静的)		
静けさ	●	●
機能	○	
工法	○	
オペレーション	○	○
タイミング	○	○
体験(本来の機能)		
体験(見立ての機能)		○
歴史性		
ストーリー性	○	○

**JTB** 東京港トンネルウォーキングツアー(2013)

感覚的に理解できる特性(大きさや迫力)を利用

**首都高** レインボブリッジと東京港トンネルに入ってみよう(2015)

トンネルの構造の仕組みや防災設備、管理通路といった機能についても「希少性」や非日常体験として利用

同じ施設でも企画によって着目される資源性が異なり  
資源性の利用の仕方が変わる

### ④ 土木構造物の資源性とツアーの造成



- **資源性の補完**によるツアーの組み立て
- **ストーリーの設定**によるツアーとしての完成度の向上

#### 資源性の補完

- 複数の土木構造物を組み合わせることで、1つのツアーとして**資源性を総合的に満たす**事例が多々確認された。
- 橋梁のように単体の土木構造物としてはあてはまる資源性が少ない場合、多くのツアーでは、トンネルの工事現場や高速道路のウォーキングなど別の資源を組み合わせることでツアーを造成していた。

## 資源性の補完

事例：ダムと道路を探検しよう！（土木学会関西支部）

	日吉ダム 運用中	出合トンネル 工事中	ツアー
美しさ(対象自体)			
美しさ(周辺環境)	●		◎
大きさ(動的)	○		◎
大きさ(静的)		●	◎
静けさ		●	◎
機能	○		◎
工法			
オペレーション			
タイミング		●	◎
体験(本来の機能)			
体験(見立ての機能)			
歴史性			
ストーリー性	○		◎

日吉ダムは4項目  
出合トンネルは3項目



それぞれの資源性は全て異なっている  
ツアーを評価すると7つの特性を満たした



資源性を総合的に満たすように  
ツアーを造成している

### インフラツアーのストーリー

#### 長期的に見て重要となるのはツアーの組み立て方

- 土木構造物はその場所でなければならない理由を持つ**土着性の強い資源**
- 周辺の資源や環境と組み合わせ地域を知ることにつなげることで、**観光体験としての充実**が図れ、ツーリズムとしての**魅力が高まる**。
- 参加者にとって着目すべき魅力が分かりやすいストーリーを組むことで、事業への理解が深まる上に、参加したツアーに対する満足度も高まると考えられる。

# インフラツアーのストーリー

## 事例：飛騨トンネルが守りたい“岐阜の宝もの”(NEXCO中日本)

**飛騨トンネル** 名古屋丸日帰りバスツアー  
**飛騨トンネルが守りたい**  
**“岐阜の宝もの”**  
 天然(ひもろ)湿原  
 飛騨トンネル  
 旅行代金 **お一人様 7,500円** (おひとり様 6,000円)  
 出発日 **7月30日(月)**  
**8月8日(水) 22日(水) 27日(月) 31日(金)**

【スケジュール】名古屋丸(7:30発)→飛騨トンネル(遊覧車をはじめ、山上の湿原に影響を及ぼさないよう配慮された  
 扇風機や大音量の音楽を厳禁等に適用した水力発電施設など、最終目にするこのトンネル施設を特別公開)→  
 天然(ひもろ)湿原(トンネル上にはひもろ(天然)湿原をハイキング(約3時間)する歩道が整備されている。  
 高山植物の宝庫として県の天然記念物に指定されています。登山口まではシャトルバスに乗り換えます)→名古屋丸(19:30着)

お申込・お問い合わせ先 旅行企画・実施  
**中日本高速道路株式会社**  
 観光企画部 企画課 1F トナール  
 岐阜県岐阜市津島1-12-19 1F 日本旅行協会正会員  
 〒460-2007 名古屋丸中區上 1F 三井住友銀行名古屋ビル  
 総合旅行振興部 企画課 1000

TEL 受付時間 平日 / 9:00~17:30 土日祝は休業  
**052-222-3597**  
 (受付時間 9:00~18:00) 052-222-3597  
<http://www.nexco.jp/stop/>

- ・ 飛騨トンネルの見学  
 ⇒ 周辺環境に配慮した工法  
 ⇒ 湧水を水力発電として利用



<https://ja.wikipedia.org/wiki/>

- ・ 天然湿原を散策

ストーリー立てたツアーで、  
 トンネルの機能を深く理解できる

	対象	利用する意図
大きさ	トンネルや道路、ダム また、その工事現場	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが感覚的に驚きや興奮を味わえるもの ⇒土木構造物の<b>迫力や雰囲気</b>を体感する</li> </ul>
技術力	運用中の施設、管理機能 工事現場、工法	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業や施設に対する<b>重要性の理解</b></li> <li><b>安全面、管理体制</b>に対する取り組みの周知</li> </ul>
タイミング	工事現場 運用開始前の現場 運用中の特別公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>限定的な性質 ⇒<b>集客効果</b>、一般人の興味を引く</li> </ul>
体験	ウォーキングツアー ダムの放水 トンネル内コンサート	<ul style="list-style-type: none"> <li>土木構造物の機能を体験，体感 ⇒施設に対する理解、迫力を体感</li> <li>コンサートやウォーキング ⇒<b>観光ツアーの満足度</b>の向上</li> </ul>
ストーリー性	周辺環境との組み合わせ	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業への<b>理解が深まる</b></li> <li>参加したツアーに対する満足度も高まり <b>ツーリズムとしての魅力が向上</b></li> </ul>

## 時間軸ごとに特徴を見た結果

- 工事現場や運用開始前の道路は観光資源として新たな項目である。
- 保全・管理の現場は、既存のツーリズムの枠で扱われていないが、近年注目されている資源であることが整理された。

## インタビュー

- 魅力としている特性は**希少性**や**非日常性**
- 分かりやすくエンターテインメント性のある解説で興味を引く工夫を意識
- 収益性と関係組織の連携が課題

## 観光資源性

- 見た目で伝わりやすい性質が重要な資源性
- **ストーリー性**は長期的な視点から重要
- 周辺の資源や環境との組み合わせで**ツアーのストーリー**を作ることが大切
- 複数の土木構造物を組み合わせることで**資源性を満たす工夫**